

製品名: EDG-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10300**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	LPAR2
別名	LPAR2; EDG4; LPA2; Lysophosphatidic acid receptor 2; LPA receptor 2; LPA-2; Lysophosphatidic acid receptor Edg-4
遺伝子 ID	9170.0
SwissProt ID	Q9HBW0
免疫原	抗血清はヒト EDG4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

背景

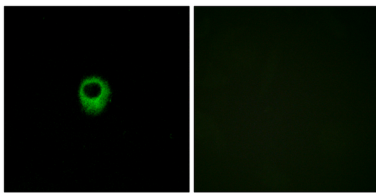
リゾホスファチジン酸受容体 2(LPAR2) Homo sapiens この遺伝子は、G タンパク質共役受容体のファミリー I のメンバー、および

EDGファミリーのタンパク質をコードしています。このタンパク質はリゾホスファチジン酸(LPA)受容体として機能し、GiおよびGqタンパク質との結合を介して、細胞内のLPAに対する重要な細胞応答であるCa²⁺動員に寄与します。選択的スプライスバリエントが記載されていますが、その全長配列は決定されていません。[RefSeq提供、2008年7月]、機能:多様な細胞活動のメディエーターであるリゾホスファチジン酸(LPA)の受容体。ヘテロ多量体Gタンパク質のG(i)/G(o)、G(12)/G(13)、およびG(q)ファミリーと共役しているようです。ホスホリパーゼC-β(PLC-β)シグナル伝達経路において重要な役割を果たします。、その他:PubMed:9525886 cDNAクローンは、C末端コード領域付近でフレームシフトを引き起こすグアニンヌクレオチド欠失を有しています。これは、cDNAが単離された卵巣腫瘍細胞における体細胞変異を反映している可能性が高く、コードされている受容体の機能を変化させ、腫瘍を形成した元の卵巣細胞の形質転換に寄与した可能性があります。、類似性:Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、サブユニット:SLC9A3R2/NHERF2、MAGI3、およびPLCB3と相互作用します。、組織特異性:精巣および末梢白血球で最も多く発現し、脾臓、脾臓、胸腺、前立腺では発現が低いです。心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、卵巣、小腸、結腸では発現がほとんどないか全くありません。

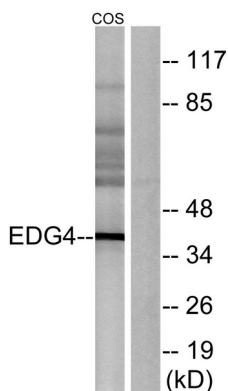
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

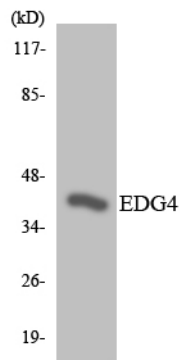
画像データ



EDG4抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



EDG4抗体を用いたCOS7細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EDG4 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。